

ICER NEWS LETTER

Innovation Center for Educational Resource



教材開発センターの取り組み

本号では、学内の教職員・学生の皆様に教材開発センターをご活用頂くために、本センターの取り組みについてご紹介いたします。

最先端のICT(Information & Communication Technology)を活用した学習効果の高い電子教材の提供により教育の質を改善する目的で、2011年4月に附属図書館の付設として教材開発センターが設置されました。本センターの主な活動は、講義等ビデオの撮影・編集・公開、MOOC(Massive Open Online Course)コンテンツの制作、本学代表的研究者紹介ビデオ(動画版「先生の森」→森の映画館(第Ⅰ期)、九大百家(第Ⅱ期))の制作、ICTを活用した電子副教材の開発およびその支援、著作権等電子教材の開発に係る各種講習会の実施です。

撮影・編集された講義等ビデオは、OCW(Open Course Ware)、iTunes podcast、YouTubeにて公開され、学内に限らず学外の一般市民の利用も可能となっています。ICTを活用した電子副教材の開発では、パソコン、スマートフォン、タブレット端末など様々な機器を活用して、効果的に学習できる教材を整備することを目標にしています。教員が一方向的に作る教材ではなく、学生との協働により学生の意見を取り入れた学習効果の高い教材の開発を目指しています。

九州大学では、学生PC必修化、学内無線LAN環境とLMS(Learning Management System)の整備等により、何時でも何処でも時間や場所に制限されることなく電子教材を利用した

学習や教育が可能となっています。2013年にMOOCの話題で取りざたされるようになった反転授業や融合学習も可能です。講義ビデオ等の電子教材を予習に使い、対面では、演習やディスカッション形式の授業や、より深い内容について講義をする等多様な形式で効率的に時間を活用して講義・授業が可能となります。このような電子教材の提供により教育の質を改善するため、積極的に本センターをご活用下さい。皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

【岡田義広センター長】



■ 講義等ビデオの撮影・編集・公開 ~ご依頼下さい~

教材開発センターでは、ビデオ教材作成の支援として、各チャンネル(YouTube、iTunes podcast、OCW)上での公開を目的とした、講義のほか講演・講習会等ビデオ教材の撮影・編集・公開の依頼を学内向けに承っております。また、撮影

済みデータをご提供いただき、各チャンネルにて配信も可能です。ご依頼は、下記アドレスまでお願いいたします。撮影・編集・公開の流れについては、下記ページをご覧ください。

✉ video@icer.kyushu-u.ac.jp 撮影・編集・公開 ▶ <https://www.icer.kyushu-u.ac.jp/flows>



ご依頼下さい

ICT活用対話型電子副教材の開発と支援

教材開発センターでは、3次元CG等のICTを活用した対話型電子副教材の開発とその支援を行っています。ご要望等がございましたら、下記までご依頼下さい。


tokyozai@jimu.kyushu-u.ac.jp
「電子教材著作権講習会」と「電子教材開発者向け講習会」
～部門・部局FDとしてご依頼下さい～

部局・部門から「電子教材著作権講習会」と「電子教材開発者向け講習会」のご依頼を受けましたら、日程と会場を調整させていただき、部門・部局のニーズに合った内容で講習会を実施させていただきます。平成30年5月18日に著作権法の一部改正が行われ令和2年度より運用



退任教員のご紹介

教育改革推進本部プロジェクト教員として2018年4月にご着任いただきました大井京准教授、芳賀瑛助教、2017年7月にご着任いただきました石偉助教は、プロジェクト完了によりまして2022年3月をもちましてご退任となりました。大井京准教授には、主にMOOCの取り組みと広報活動を支援していただきました。芳賀瑛

助教には、講義等ビデオ教材の制作全般を支えていただきました。また、石偉助教には、ICT活用電子副教材の開発全般を支えていただきました。これまでのご支援につきましてお礼申し上げます。また、新天地でのご活躍を祈念しております。

【岡田義広センター長】



大井 京 准教授

2018年4月から4年間にわたりMOOC講座開発を中心にICTを活用した教材開発に携わってまいりました。前任者の先生方が築いてくださった礎に頼りながら手探りで始めましたが、国内外の数多くの方にMOOC講座を受講していただき、九州大学の興味深い研究を学外に広く届けることができました。また、講師をお引受け下さった異なる分野の先生方の研究と教育者としての視点、受講者の方々のアンケートや講座受講中に開設したweb掲示板を通した声から、多くのことを学び、自分自身の研究もこの経験を生かして進めることができました。心から感謝申し上げます。このように得難い経験を与えて下さったICERが、充実した教材開発の中心として、更なる発展を遂げることを願っております。



石 偉 助教

私は2017年7月から助教として教材開発センターに着任しました。在職中は、皆様大変お世話になり、ありがとうございました。教材開発センターではICTを活用した電子教材に関する研究と仕事をさせていただきました。これまで、九大医学部、文学部、留学生センター、共創学部の先生、研究者、学生たちと連携して、様々な電子教材を開発してまいりました。開発した電子教材は、九大学生だけではなく、他大学の学生、高校生、小学生など、幅広く使ってもらい、評価をいただいています。私は、こちらで学んだものを今後の研究と仕事で活かして、新たな部署で頑張りたいと思います。退任はいたしますが、同じ九大の情報基盤研究開発センターに助教として着任します。新たな部署でも教材開発センターと連携して研究を続ける予定です。引き続き、教材開発センターの発展に尽力させていただければと考えております。

先生方、今までありがとうございました！

<https://www.facebook.com/KyushuUniversityICER>
https://twitter.com/ICER_KyushuUniv
<https://www.icer.kyushu-u.ac.jp>
info@icer.kyushu-u.ac.jp

バックナンバーを公開しています
<https://www.icer.kyushu-u.ac.jp/pr>



ICER Innovation Center for
Educational Resource

K Y U S H U U N I V E R S I T Y

編集・発行：九州大学附属図書館付設教材開発センター
 Copyright (C) Innovation Center for Educational Resources All rights reserved.